

めあて 用語を理解しよう。



教科書P206～を読んで、をうめよう。

Aルートの所要時間 (晴・曇)

: 資料を整理するために用いる区間のこと。

: 区間の幅のこと。

: 階級の真ん中の値のこと。

: それぞれの階級に入っている資料の個数のこと。

: 資料をいくつかの階級に分け、階級ごとにその度数を示して、分布の様子を分かりやすくした表のこと。

: 度数分布表を示した柱状グラフのこと。

: ヒストグラムで、おのおのの長方形の上の辺の中点を結んでできる折れ線のこと。

: $\frac{\text{(その階級の度数)}}{\text{(度数の合計)}}$ のこと。

所要時間 (分)	度数 (台)
以上 未満	
27～30	4
30～33	18
33～36	23
36～39	15
39～42	3
42～45	1
45～48	0
合計	64



教科書P213～を読んで、をうめよう。

: その資料の最大の値から最小の値をひいた値のこと。
レンジともいう。

: 資料の特徴を調べたり伝えたりするときに代表として用いる1つの数値のこと。

: 個々の資料の値の合計を、資料の総数でわった値のこと。

: 調べようとする資料の値を大きさの順に並べたときの中央の値のこと。
資料の総数が偶数の場合は、中央にある2つの値の平均値とするもので、メジアンともいう。

: 資料の中で、もっとも多く出てくる値のこと。度数分布表では、度数のもっとも多い階級の階級値。モードともいう。

教科書P216までを読んで問題にも挑戦してみよう！

